

第2章

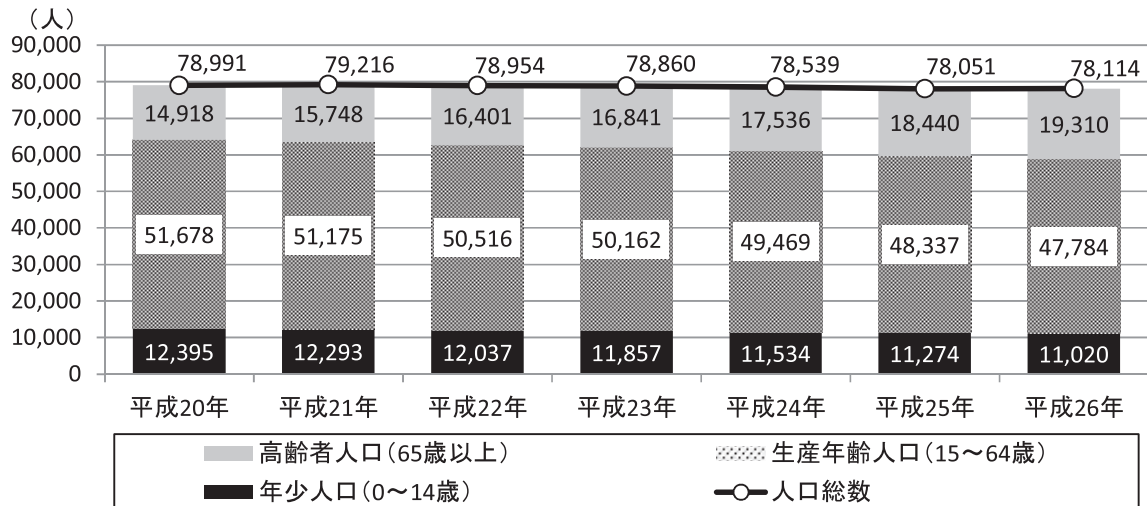
交野市の子ども・子育て を取り巻く状況

1 人口等の動向

(1) 人口の推移

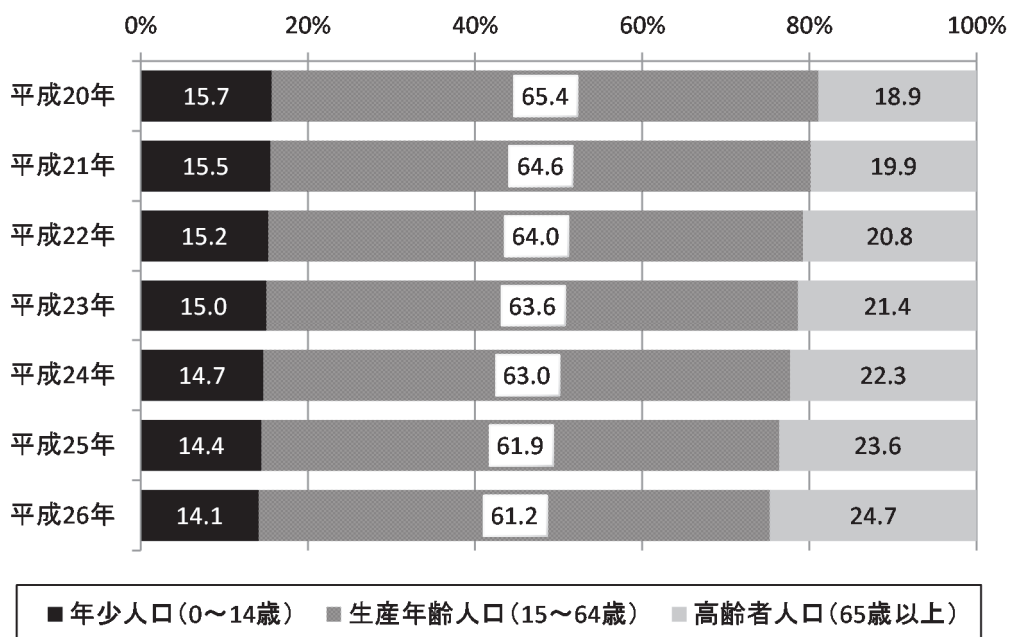
交野市の人口は、平成21年以降、徐々に減少し、平成26年3月現在で78,114人となっています。また、年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口割合及び生産年齢人口割合の減少と高齢者人口割合の増加がみられ、少子高齢化が進展しています。

図表 総人口の推移



資料：市情報課（各年3月末）

図表 年齢3区分人口構成比



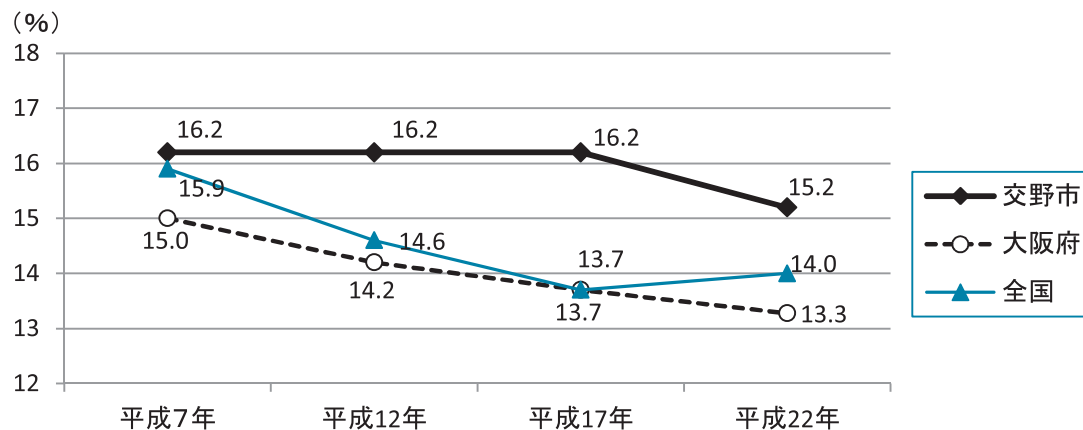
資料：市情報課（各年3月末）

(2) 子ども数等の推移

交野市の年少人口割合は、平成7年以降の横ばいから平成22年に15.2%と下がっていますが、国や大阪府に比べると、高い割合を保っています。

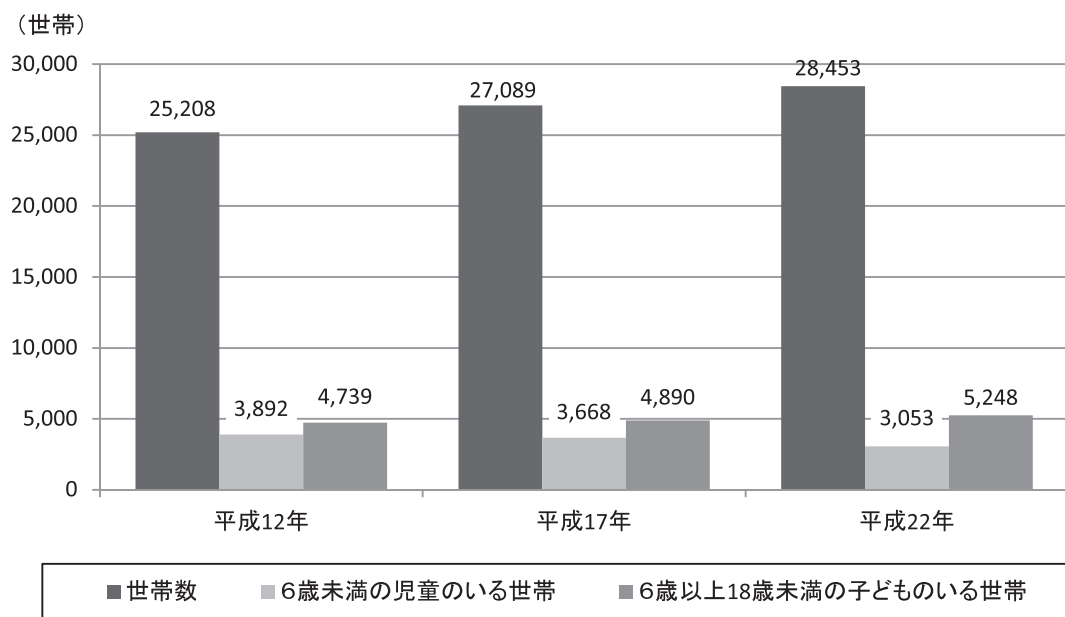
また、世帯数は増加傾向にあるものの、6歳未満の子どものいる世帯数は減少傾向にあり、6歳以上18歳未満の子どものいる世帯数は増加の傾向にあります。

図表 年少人口割合の推移



資料：国勢調査

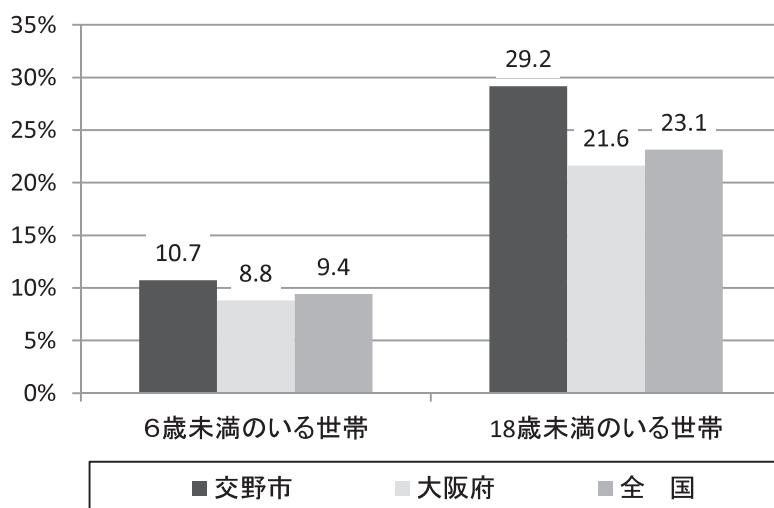
図表 子どものいる世帯数（平成12年から22年）



資料：国勢調査

交野市の子どものいる世帯割合を大阪府、全国と比較すると、6歳未満の子どものいる割合は、交野市 10.7%、大阪府 8.8%、全国 9.4%、18歳未満の子どものいる世帯の割合は、交野市 29.2%、大阪府 21.6%、全国 23.1%となっており、大阪府や全国に比べて子どものいる世帯の割合は高くなっています。

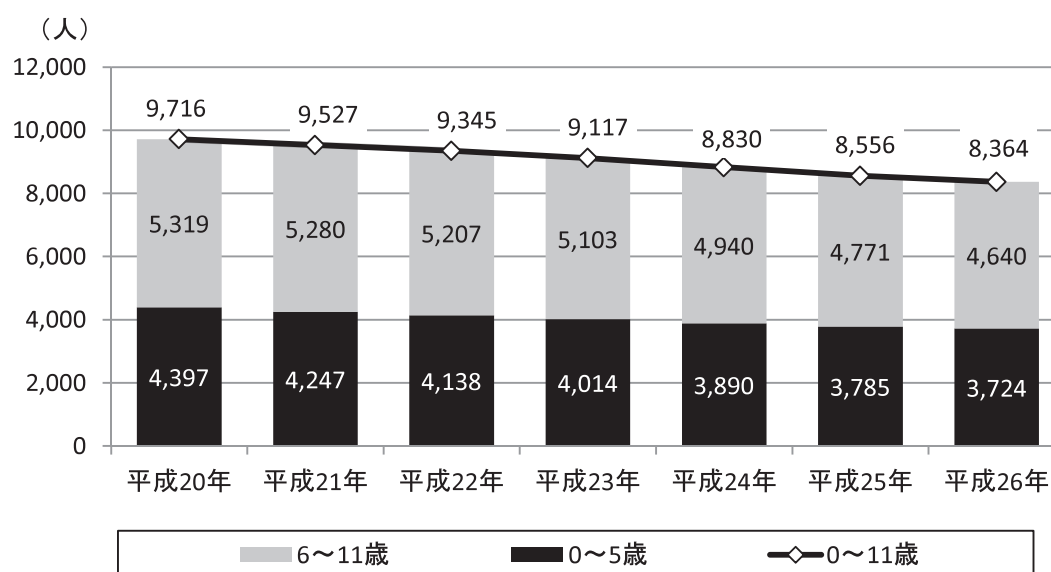
図表 子どものいる世帯割合の比較



資料：国勢調査（平成22年）

交野市の0～11歳人口の推移をみると、平成20年では0～5歳人口は4千人台、6～11歳人口は5千人台となっていました。平成26年にはそれぞれ3千人台、4千人台と減少しています。

図表 0～11歳人口の推移



資料：市情報課（各年3月末）

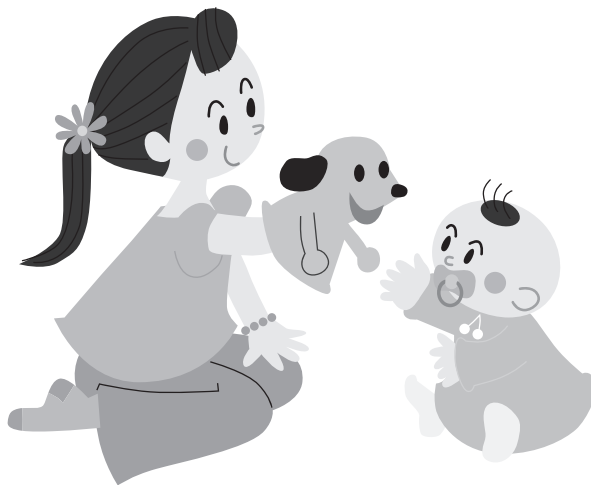
交野市の0～11歳の将来人口をみると、平成26年より、すべての年齢で減少傾向が見込まれています。

図表 0～11歳人口の将来推計

(人)

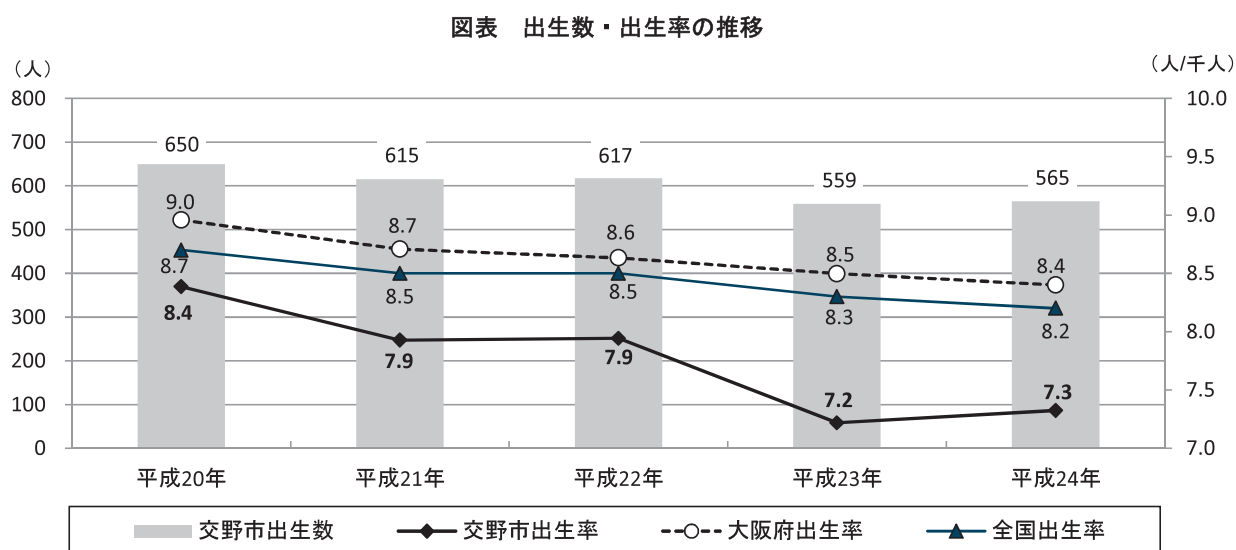
区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
				見込	見込	見込	見込	見込
0歳	508	559	530	518	512	505	500	498
1歳	630	533	615	597	601	577	569	564
2歳	661	640	567	548	533	536	514	507
3歳	665	674	658	633	612	593	597	573
4歳	719	668	690	649	626	605	588	589
5歳	707	711	664	634	596	575	555	539
6歳	705	714	734	700	669	630	607	587
7歳	798	724	713	681	651	623	585	564
8歳	788	793	721	695	664	635	606	570
9歳	881	790	792	724	699	669	638	610
10歳	869	881	795	759	696	670	642	613
11歳	899	869	885	810	775	708	682	653

資料：市健やか総務室



(3) 出生数・出生率の推移

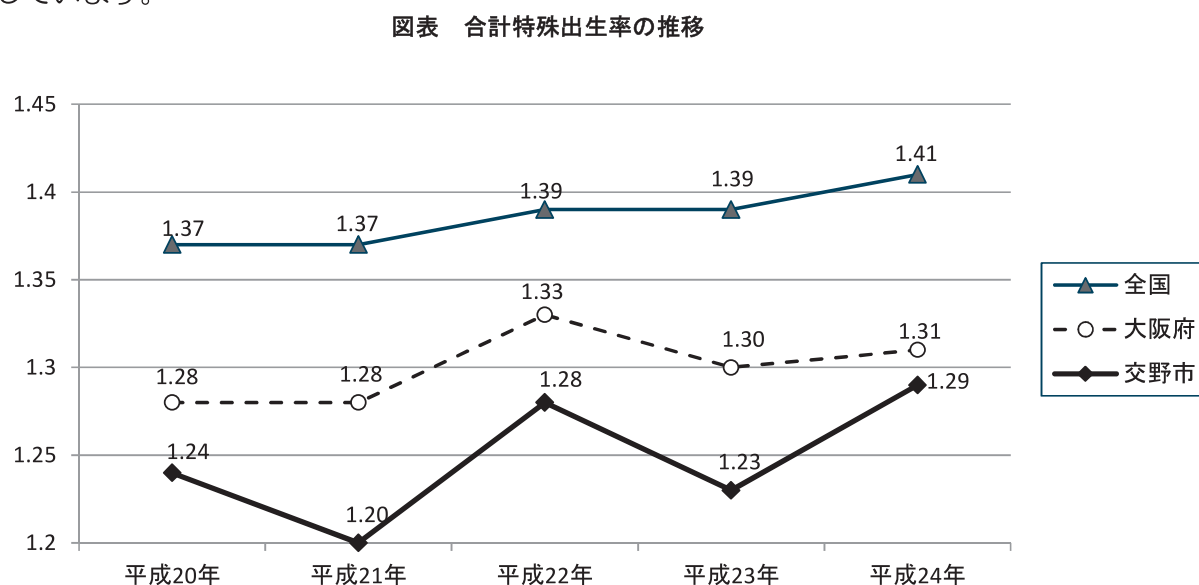
交野市の近年の出生数をみると、平成20年は650人でしたが、その後減増を経て平成24年は565人となっています。これにともない、出生率（人口千人あたりの出生数）も同様に変化し、平成24年の出生率は7.3パーミルとなっており、国や大阪府よりも低い値で推移しています。



資料：人口動態統計 ※出生率は人口千対

(4) 合計特殊出生率の推移

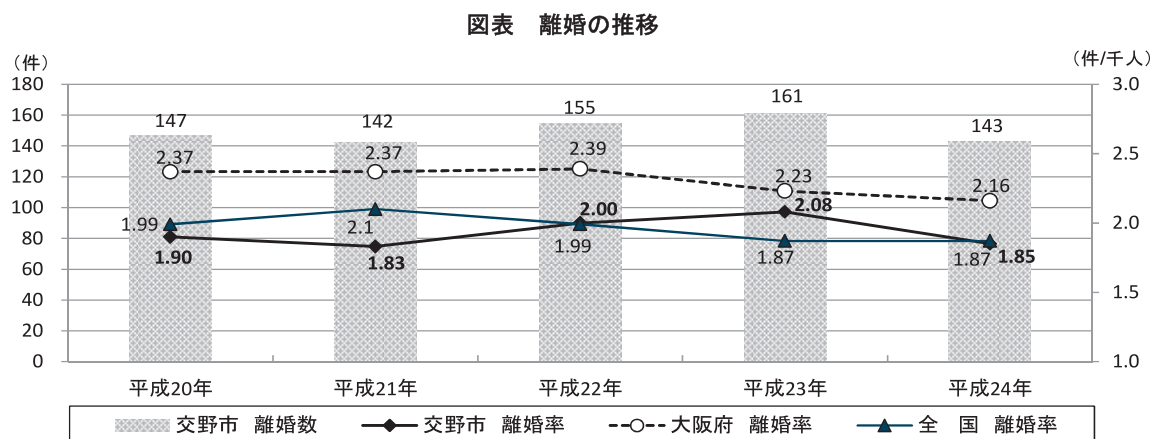
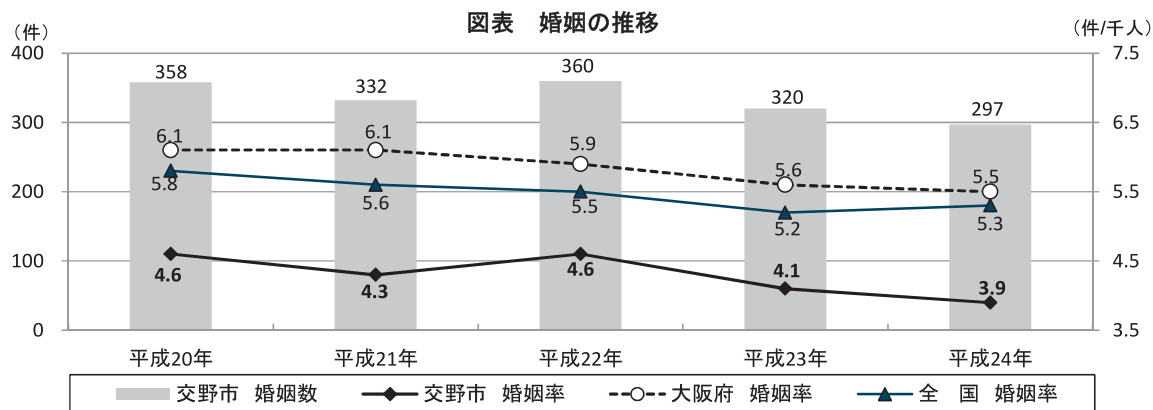
交野市の近年の合計特殊出生率をみると、平成20年は1.24でしたが、平成24年は1.29となっており、平成20年よりも0.05ポイント上昇していますが、国・府に比べると低い値で推移しています。



資料：人口動態統計、市健康増進課 ※出生率は人口千対

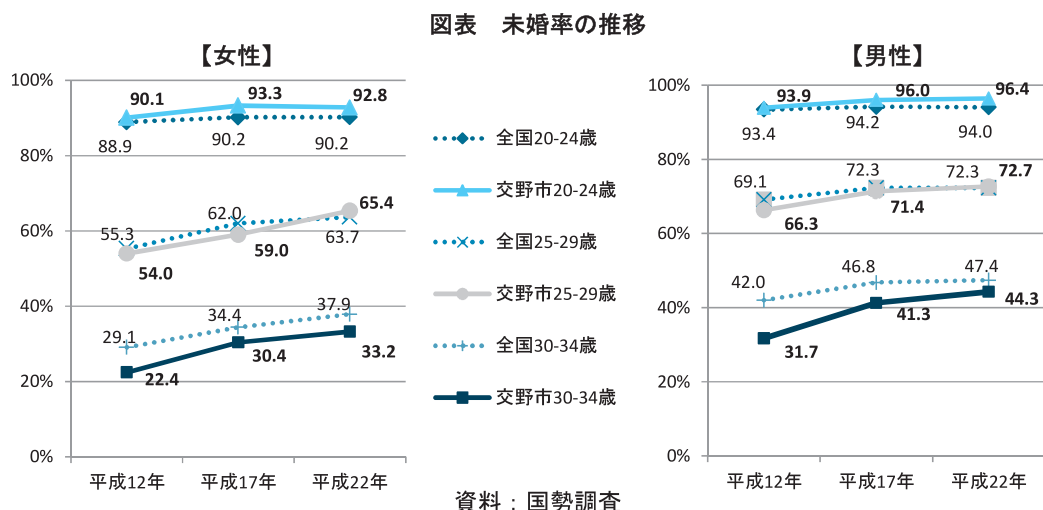
(5) 婚姻等の状況

交野市の近年の婚姻数をみると、平成20年は358件でしたが、平成24年には297件となっています。また、離婚数は、平成20年の147件から平成24年には143件となっており、婚姻率、離婚率ともに府・国に比べて低い値で推移しています。



資料：人口動態統計

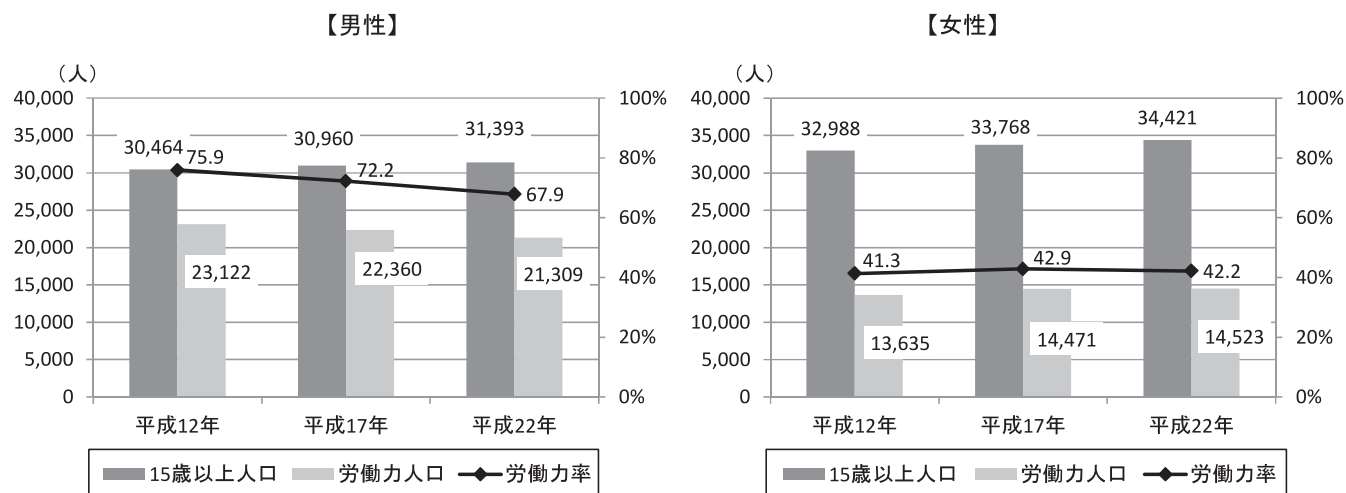
交野市の未婚率をみると、男女ともに20～24歳では全国より高くなっていますが、30～34歳では全国に比べて低い値で推移しています。



(6) 労働力状態

交野市の平成22年の労働力人口は、男性が21,309人、女性が14,523人となっています。平成12年から比較すると、男性の労働力人口は減少傾向の一方、女性の労働力人口は増加傾向にあります。

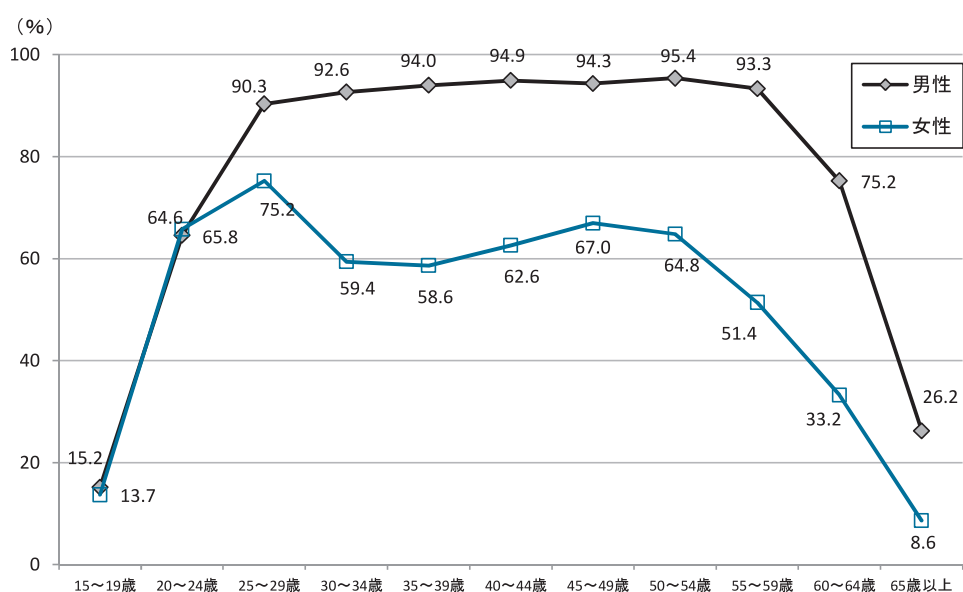
図表 労働力人口



資料：国勢調査（平成22年）

交野市の年齢階級別・男女別の労働力率は、男性では、25～59歳にかけて労働力率が9割台となっているのに対し、女性では、30歳代でいったん労働力率が5割台に落ち込んだ後高くなり、45歳以上で低下していきます。40歳以上では45～49歳の67.0%が最も高い労働力率となっていますが、25～29歳の75.2%と比べると低い値となっています。

図表 年齢階級別・男女別労働力率

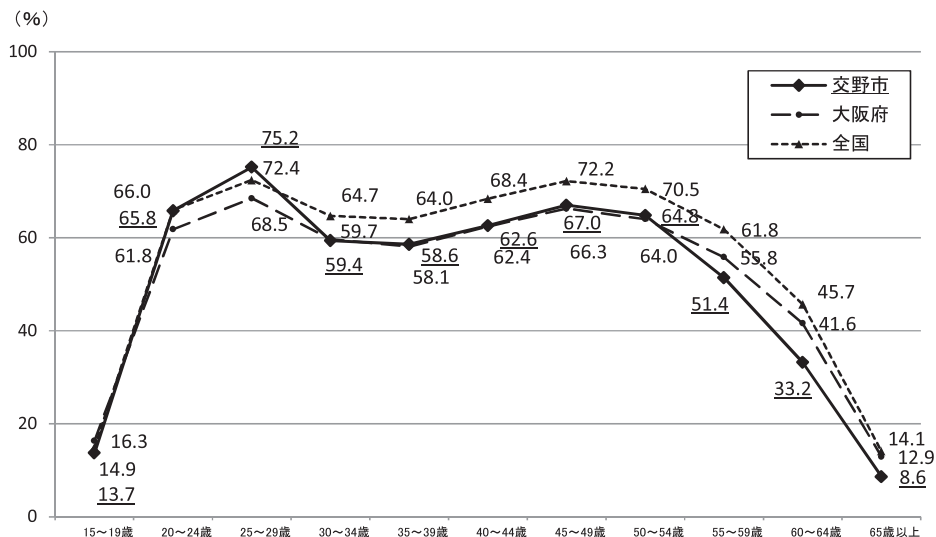


資料：国勢調査（平成22年）

女性労働力率を、大阪府、全国と比較すると、交野市 42.2%、大阪府 43.9%、全国 47.0%と、大阪府、全国と比べて低い値となっています。

また、年齢階級別に比較すると、25 から 29 歳の労働力率が大阪府や全国と比べて高くなっている一方、40 歳以上の労働力は全国と比べ低くなっています。

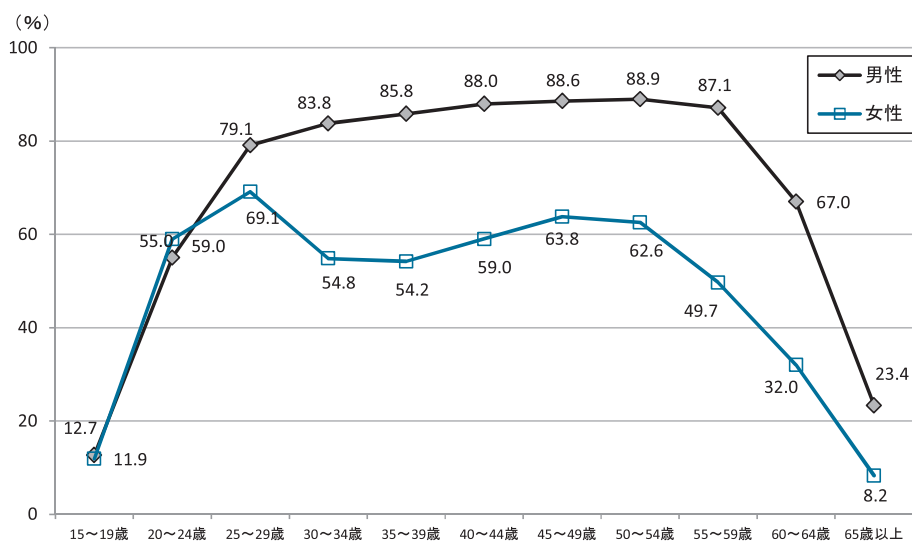
図表 年齢階級別女性労働力率の比較



資料：国勢調査（平成 22 年）

交野市の年齢階級別・男女別の就業率は、男性では、30～59 歳にかけて就業率が 8 割台となっているのに対し、女性では、30 歳代でいったん 5 割台に落ち込んだ後、上昇して 6 割台となり、45 歳以上で低下していきます。40 歳以上では 45～49 歳の 63.8%が最も高い就業率となっていますが、25～29 歳の 69.1%と比べると低い値となっています。

図表 年齢階級別・男女別就業率



資料：国勢調査（平成 22 年）

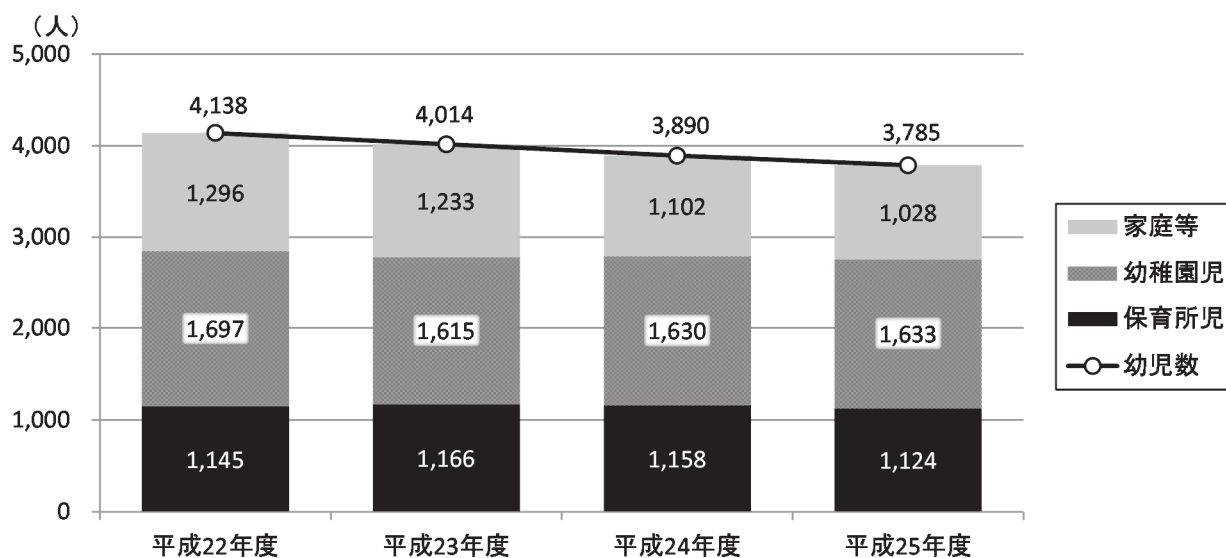
(7) 行政サービス等の状況

①就学前児童の保育等の状況

交野市における就学前児童の保育所・幼稚園の利用状況では、平成22年度と平成25年度を比較すると減少傾向にあります。

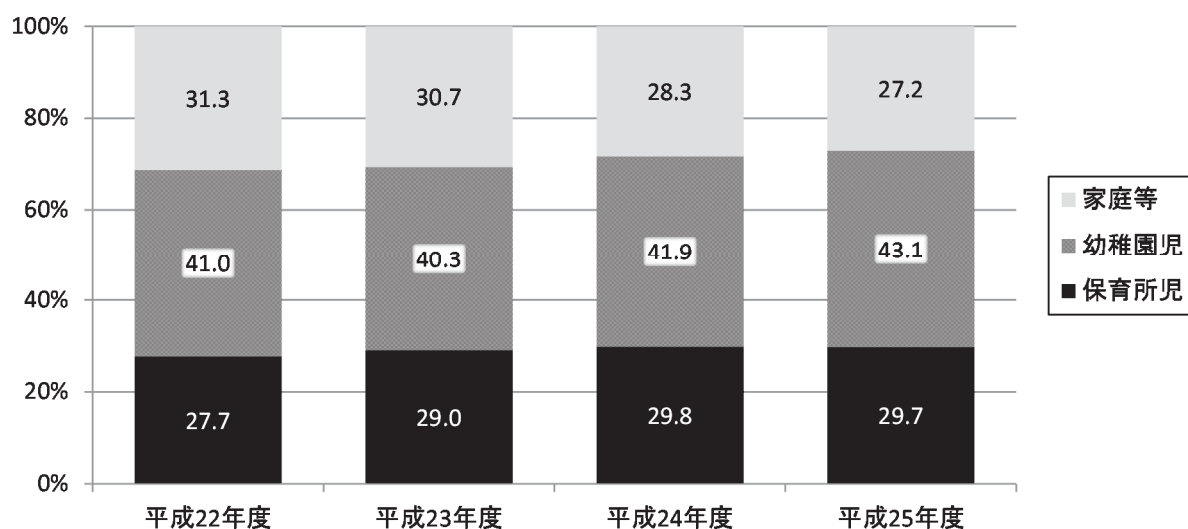
保育所や幼稚園に通わない層（家庭等）も含めて構成割合をみると、保育所児は近年3割近くとなっており、また幼稚園児は4割台で推移しています。

図表 就学前児童の保育所・幼稚園の利用状況



資料：市こども園課

図表 就学前児童の保育所・幼稚園の利用状況（構成割合）

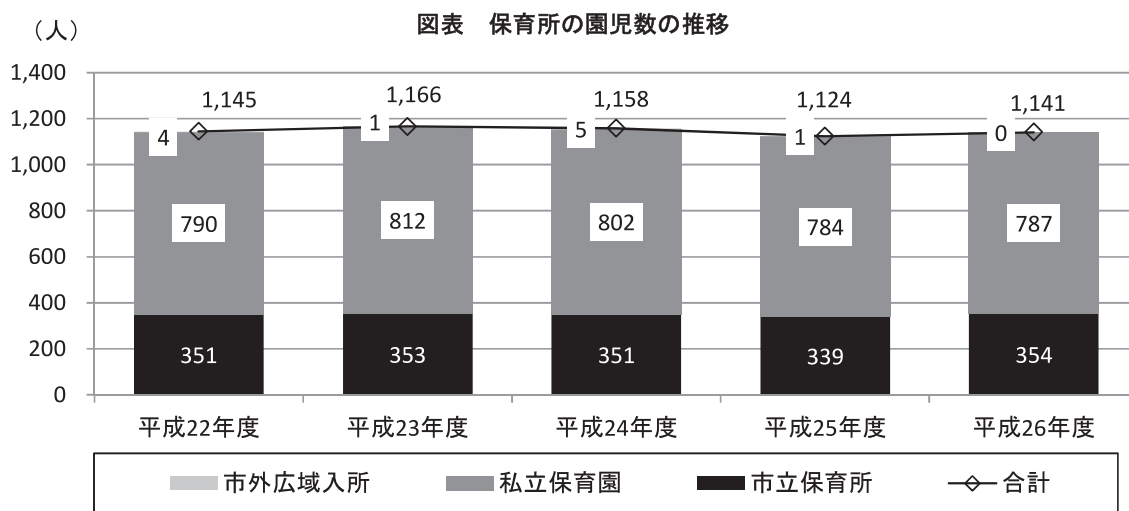


資料：市こども園課

②保育所の状況

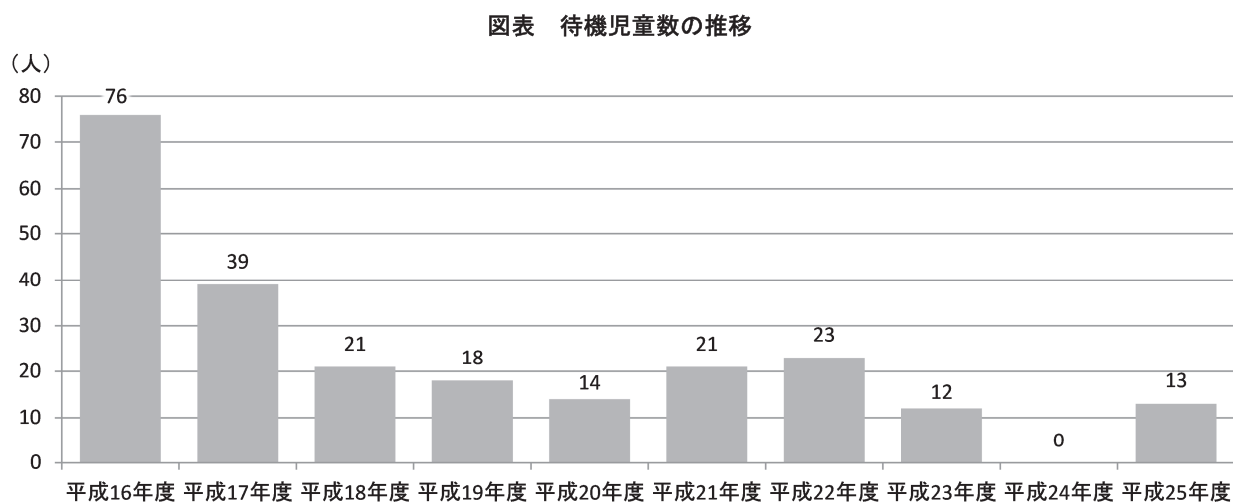
1) 保育所の定員及び園児数の推移

交野市の認可保育所は、公立保育所3か所、私立保育園7か所の合計10か所あります。平成22年度からの入所児童数を比較すると、ほぼ横ばいの状況となっています。



2) 保育所の待機児童の推移

交野市の待機児童数は、平成16年度の76人から大幅な減少を経て、平成24年度には待機児童ゼロとなりましたが、平成25年度には13人となっています。

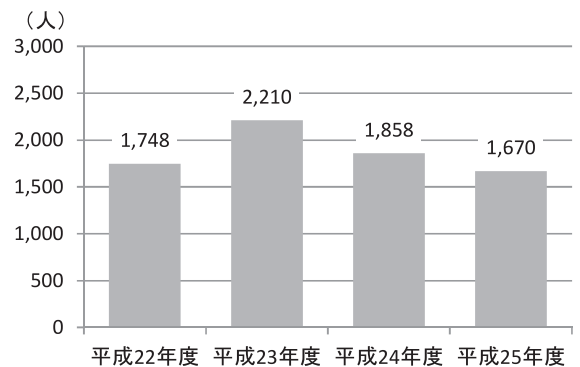


3) 保育サービス等の状況

○一時預かり事業の利用状況

保育所（園）に入所していない家庭においても、保護者の疾病や育児疲れ解消などを理由に一時的に児童を預かる一時預かり事業を私立保育園 2 か所で実施していますが、年間の延べ利用数は平成 24 年度から減少傾向となっています。

図表 一時預かり事業（延べ利用人数）

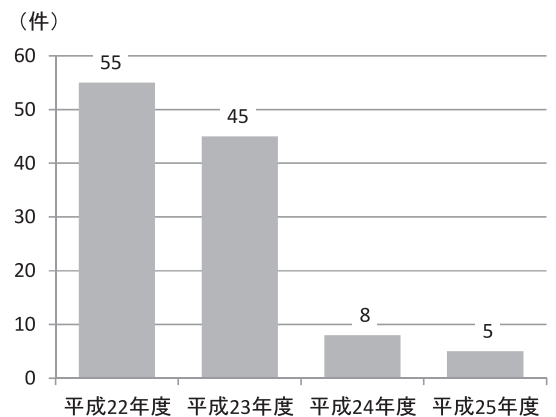


資料：市こども園課

○休日・夜間保育事業の利用状況

保護者の就労形態が多様化しているなか、日曜、祝日、夜間等にかかる保育事業については、利用ニーズが少なくファミリー・サポート・センター事業により対応していますが、利用は減少しています。

図表 休日・夜間保育の利用状況



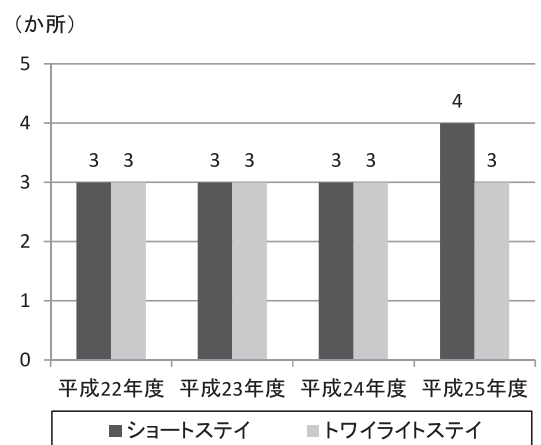
資料：市子育て支援課

○子育て短期支援事業の実施状況

（ショートステイ・トワイライトステイ）

病気・出産・看護・冠婚葬祭・出張などで、保護者が夜間も留守になるほか、育児疲れなど一時的に子どもの保育ができないときに、指定した施設で一定期間、子どもの預かりを実施しています。

図表 子育て短期支援事業の契約施設数



資料：市子育て支援課

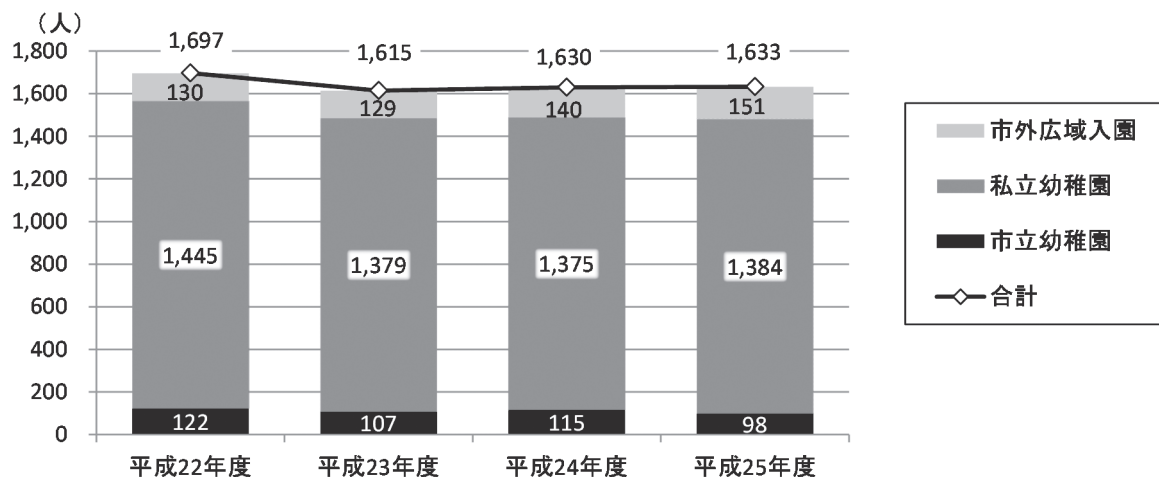
③幼稚園の状況

1) 幼稚園の定員及び園児数の推移

交野市の幼稚園は、市立幼稚園3か所、私立幼稚園6か所の合計9か所あります。

平成25年度と平成22年度の園児数を比較すると、市立幼稚園では、24人の減、私立幼稚園では61人の減となっていますが、市外広域入園者は21人の増となっています。

図表 幼稚園の園児数の推移



※私立幼稚園の人数には、他市からの市外広域入園を含む。

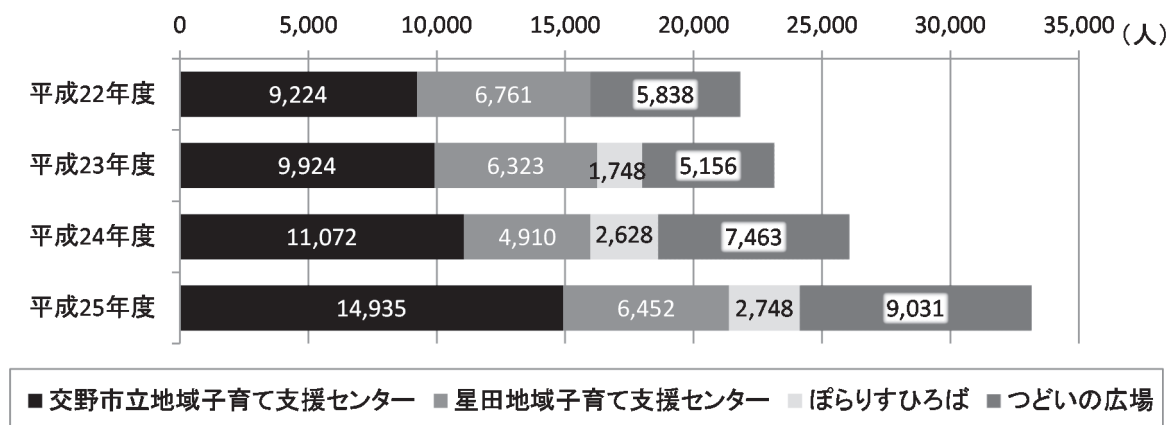
資料：市こども園課

④地域の子育て支援の状況

1) 子育て支援拠点事業

交野市では、在宅で子育てをする保護者を支援するため、地域子育て支援拠点事業を展開し、子育ての相談や、遊び場・情報提供、子育て講習会を実施しています。各拠点において、年々利用者数、相談件数は増加しています。

図表 子育て支援拠点事業の利用状況



※「ぼらりすひろば」は平成23年度より実施

資料：市子育て支援課

【交野市立地域子育て支援センター】

区 分	単位	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
来所者	組	4,371	4,890	5,444	7,265
延べ来所者数（親・子）	人	9,224	9,924	11,072	14,935
相談件数	件	117	100	53	193
開所日数	日	196	244	245	245

【星田地域子育て支援センター】

区 分	単位	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
来所者	組	3,302	3,028	2,335	3,148
延べ来所者数（親・子）	人	6,761	6,323	4,910	6,452
相談件数	件	18	8	7	41
開所日数	日	256	254	257	237

【ぼらりすひろば】

区 分	単位	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
来所者	組	—	874	1,241	1,293
延べ来所者数（親・子）	人	—	1,748	2,628	2,748
相談件数	件	—	64	50	88
開所日数	日	—	145	144	143

【つどいの広場】

区 分	単位	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
来所者	組	2,704	2,477	3,603	4,231
延べ来所者数（親・子）	人	5,838	5,156	7,463	9,031
相談件数	件	2	4	17	48
開所日数	日	137	136	132	134

資料：市子育て支援課

2) 子育てサロン

子育てサロンとは、乳幼児を子育て中の人の子連れで歩いていけるところで、校区福祉委員や地域のボランティアと一緒に集い、楽しく仲間づくりを行う活動です。

交野市では、各小学校区福祉委員会により地域の集会所や公民館等の施設において展開しています。

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
交流会開催	交流会の種類	研修交流会		子育て支援活動をつなぐ交流会	
	開催回数（回）	1	2	3	4
	延べ参加者数（人）	22	107	118	81
サロン開催	開催回数（回）	1	161	168	154
	延べ参加者数（人）	22	3,509	3,145	3,482

資料：市子育て支援課

3) ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センター事業は、子育てを援助してほしい方（依頼会員）と子育てを援助したい方（提供会員）、またはその両方を行いたい方（両方会員）が行う会員制の相互援助活動システムです。援助の内容としては、0歳（おおむね生後3か月）から小学校6年生までの子どもを対象とし、基本的には提供会員宅での子育て援助や、病院や幼稚園等においての付き添い保育等、様々な援助について相談に応じており、各会員数については、年々増加しています。

■ファミリー・サポート・センターの活動実績

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
提供会員（人）	71	74	83	87
依頼会員（人）	327	374	416	464
両方会員（人）	14	14	17	19
会員合計（人）	412	462	516	570
活動件数（件）	2,065	2,553	3,133	1,944

資料：市子育て支援課

4) ネットワーク事業

校区福祉委員会、子育てボランティア、子育てサークル、民生委員児童委員、主任児童委員、子ども家庭サポーター、保育所（スマイルサポーター）、幼稚園などとの関係機関が連携し、情報を共有し、子育て支援を推進するネットワークの構築を図るものです。交野市に事務局を置きネットワーク会議の開催により、地域ぐるみの子育てネットワークの整備に努めています。

■ネットワーク会議の開催

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
会議の種類	—	次世代育成支援 行動計画策定作 業部会及び健全 育成部会の合同 開催	全体会	全体会／地区会
開催回数(回)	—	2	3	2／4
延べ参加者数(人)	—	—	118	83／81

資料：市子育て支援課

⑤母子保健事業の状況

1) 妊婦健康診査補助

妊婦支援として、母子健康手帳交付時に妊婦への助言、指導等の徹底を図り、安心・安全な妊娠・出産に向け、全14回の妊婦健康診査の補助を実施しています。

2) こんにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業）

0～4か月未満児のいる全ての家庭を対象に、助産師・保健師・民生委員児童委員・主任児童委員が家庭訪問を行い、赤ちゃんの健康状態、産後の生活、育児支援に関する情報提供、育児相談等を実施しています。

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
出生数(人)	603	508	559	530
訪問件数(件)	621	539	570	542

(里帰り児への訪問含む)

資料：市健康増進課

3) 乳幼児健診

乳幼児の健やかな心身の成長を促すため、保健・育児・栄養・むし歯予防など幅広い子育ての支援を実施しています。

■乳幼児健診受診率

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4 か月	97.1%	97.0%	95.6%	97.4%
1 歳 6 か月	93.0%	96.9%	94.2%	94.5%
2 歳 6 か月	86.5%	86.6%	85.6%	88.6%
3 歳 6 か月	81.0%	98.4%	85.9%	87.3%

資料：市健康増進課

⑥小中学校での状況

1) 小学校児童数

交野市の小学校児童数は毎年減少傾向にあり、平成17年と平成26年の10年間を比較すると、665人の減少となっています。

(人)

区 分	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
交野小	811	734	699	665	617	568
星田小	498	444	433	421	423	405
郡津小	886	728	684	692	680	659
岩船小	363	408	406	386	381	383
倉治小	613	605	609	620	619	637
妙見坂小	256	436	450	434	403	391
長宝寺小	453	362	339	312	285	253
旭小	521	486	494	473	448	424
藤が尾小	351	428	432	420	398	403
私市小	429	429	421	397	393	393
合計	5,181	5,060	4,967	4,820	4,647	4,516

資料：市学校管理課、市指導課（各年5月1日現在）

2) 放課後児童健全育成事業

(人)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
在籍児童数 (1～4年生)	657	698	659	638

資料：市青少年育成課

3) 中学校生徒数

交野市の中学校生徒数は、平成22年から平成26年までの5年間では、各年2,400人前後の範囲で増減しています。

(人)

区 分	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
第一中学校	509	539	567	549	531	504
第二中学校	704	716	706	652	678	671
第三中学校	577	580	592	623	658	665
第四中学校	466	517	548	557	554	535
合計	2,256	2,352	2,413	2,381	2,421	2,375

資料：市学校管理課、市指導課（各年5月1日現在）

2 ニーズ調査結果の概要

(1) 調査実施概要

本計画の策定のため、就学前児童と小学生の保護者を対象に、子育ての状況や教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用の状況等を把握するために「子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査」を実施しました。

■調査実施要項

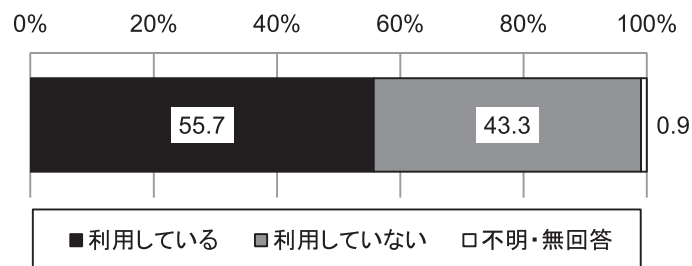
調査地域	交野市全域
調査対象	●交野市内在住の「未就学児」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）1,800人 ●交野市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生調査）1,200人
調査期間	平成25年12月19日～平成26年1月16日
調査方法	住民基本台帳を基に対象世帯を無作為に抽出 郵送配布・郵送回収
回収結果	●就学前児童調査：856件（回収率：47.6%） ●小学生調査：564件（回収率：47.0%）

(2) 調査結果概要

①教育・保育事業の利用状況

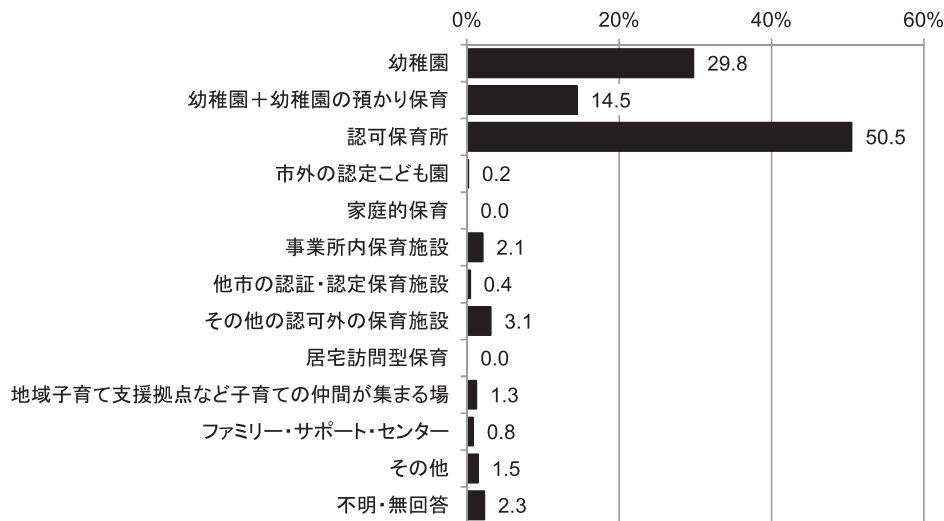
就学前児童の保護者に定期的な教育・保育事業の利用についてたずねたところ、「利用している」が55.7%となっています。

図表 定期的な教育・保育事業の利用有無／就学前児童（N=856）



定期的にご利用している教育・保育事業は、「認可保育所」(50.5%)が最も高く、次いで「幼稚園」(29.8%)となっています。

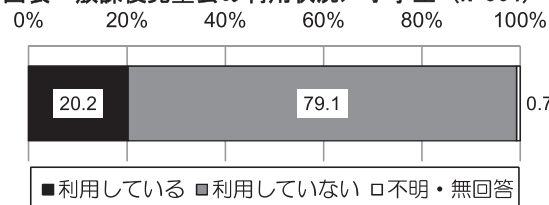
図表 定期的にご利用している教育・保育事業／就学前児童 (N=477)



②放課後児童会の利用状況

小学生の保護者にたずねた放課後児童会の利用状況は、「利用している」が約2割(20.2%)に対して、「利用していない」が約8割(79.1%)となっています。

図表 放課後児童会の利用状況／小学生 (N=564)

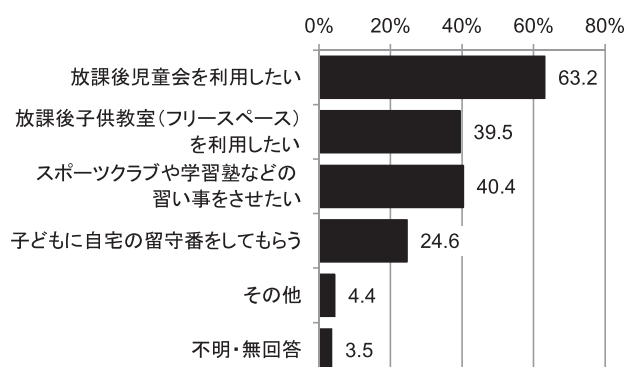


③放課後の過ごし方

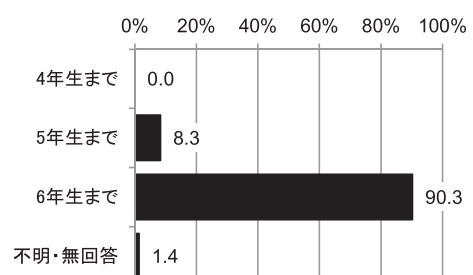
放課後児童会を利用している小学生の保護者に、小学校4年生以降の放課後の過ごし方をたずねたところ、「放課後児童会を利用したい」(63.2%)が最も高く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(40.4%)となっています。

希望する利用学年は、「6年生まで」(90.3%)が最も高くなっています。

図表 小学校4年生以降の放課後の過ごし方／小学生 (N=114)

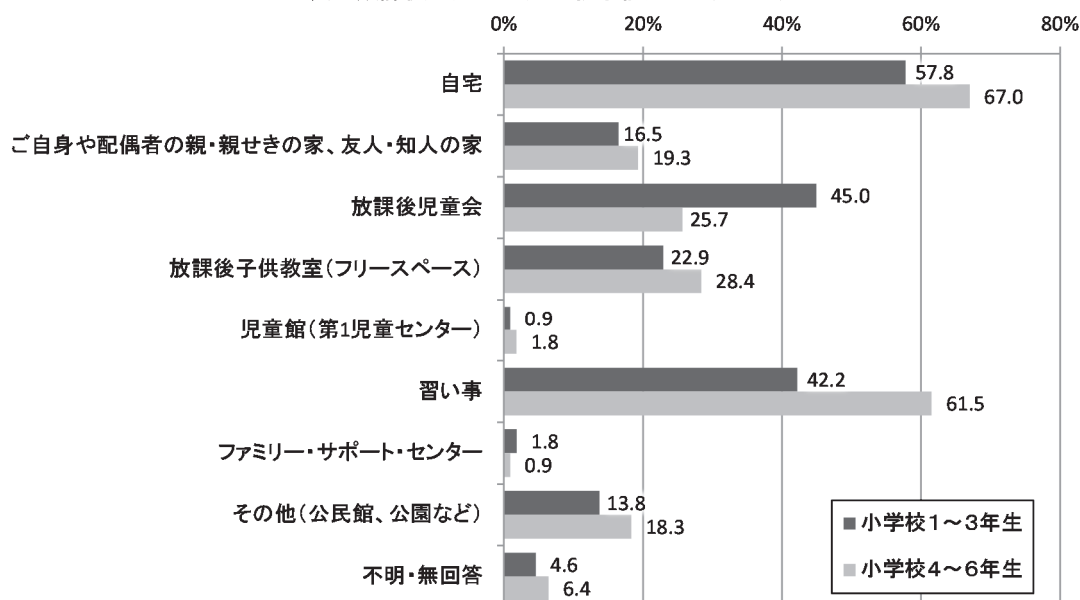


図表 放課後児童会の希望利用期間／小学生 (N=72)



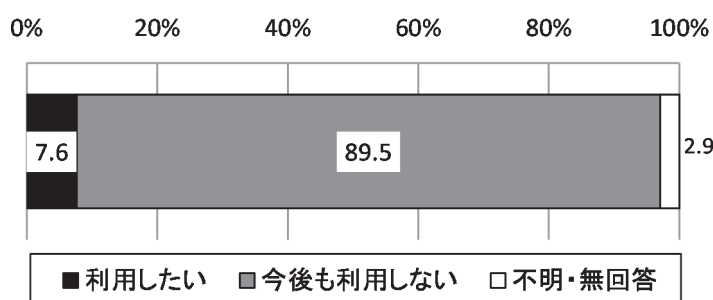
次年度就学予定者の保護者にたずねた就学後の放課後の過ごし方については、小学校1～3年生の間及び小学校4～6年生の間ともに「自宅」が最も高く、それぞれ57.8%、67.0%となっています。次いで、小学校1～3年の間は「放課後児童会」(45.0%)、「習い事」(42.2%)、小学校4～6年生の間では「習い事」(61.5%)、「放課後子供教室」(28.4%)となっています。

図表 放課後の過ごし方／就学前児童 (N=109)



放課後児童会を利用していない小学生の保護者に、放課後児童会の利用意向をたずねたところ、約9割(89.5%)の方が「今後も利用しない」と回答しています。

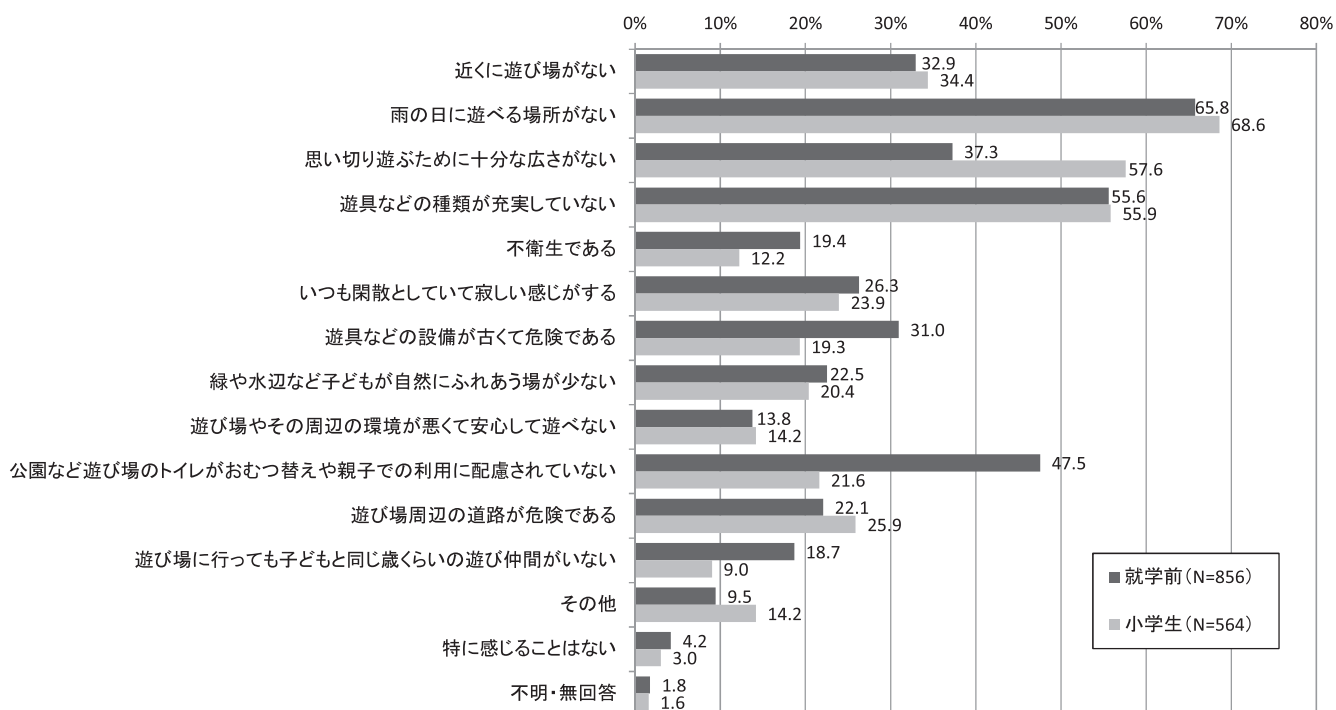
図表 放課後児童会の利用意向／小学生 (N=446)



④子どもの遊び場について

子どもの遊び場について日頃感じることをたずねたところ、就学前及び小学生の保護者ともに「雨の日に遊べる場所がない」が最も高く、それぞれ65.8%、68.6%となっています。次いで、就学前では「遊具などの種類が充実していない」(55.6%)、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(47.5%)となっており、小学生では「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(57.6%)、「遊具などの種類が充実していない」(55.9%)となっています。

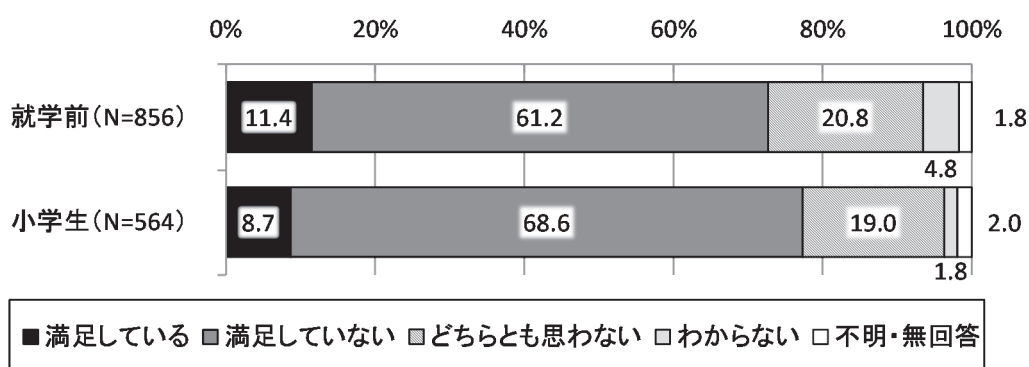
図表 子どもの遊び場について日頃感じること



子どもの遊び場についての満足度は、就学前児童で「満足していない」が最も高く（61.2%）、次いで「どちらとも思わない」（20.8%）となっています。

また、小学生では「満足していない」が最も高く（68.6%）、次いで「どちらとも思わない」（19.0%）となっています。

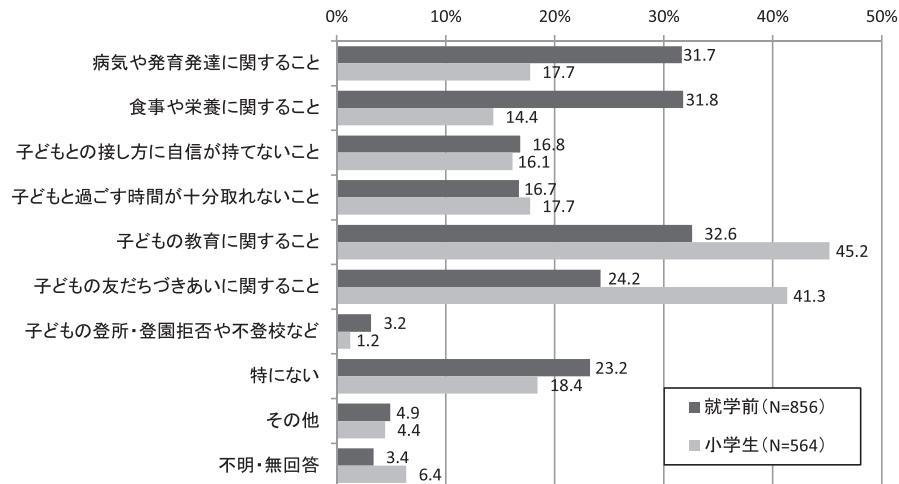
図表 子どもの遊び場についての満足度



⑤子どもの悩み

保護者にたずねた子どもに関することで悩んでいる・気になることについては、就学前、小学生ともに「子どもの教育に関すること」が最も高く、それぞれ32.6%、45.2%となっています。次いで、就学前では「食事や栄養に関すること」(31.8%)、「病気や発育発達に関すること」(31.7%)、小学生では「子どもの友だちづきあいに関すること」(41.3%)、「特にない」(18.4%)となっています。

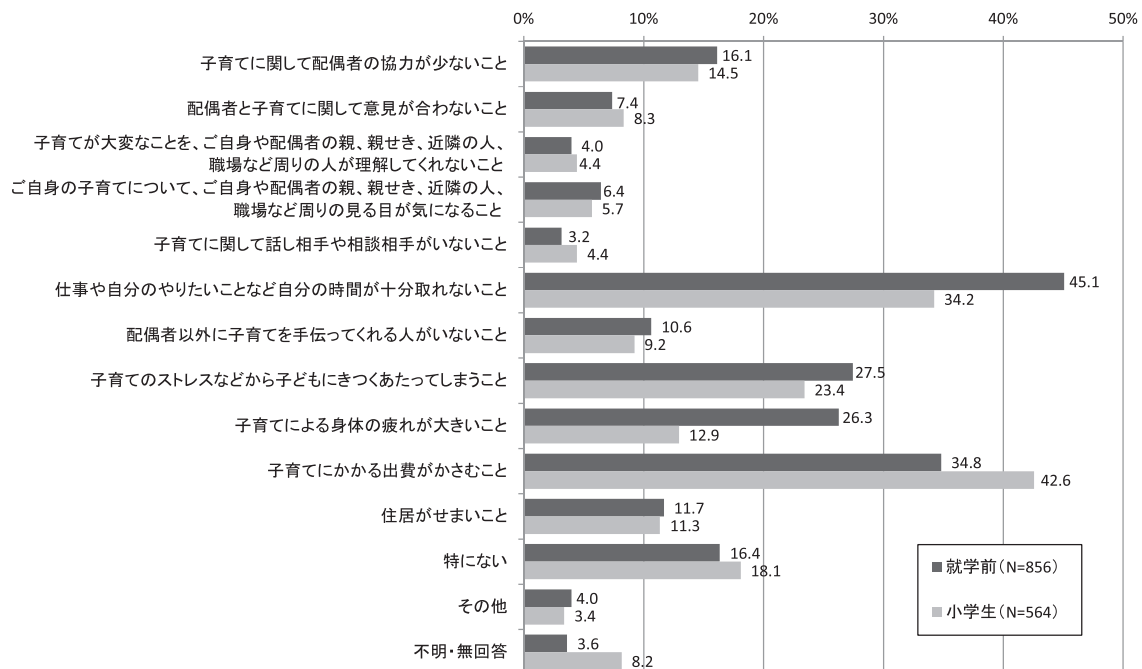
図表 子どもに関することで悩んでいる・気になること



⑥保護者の悩み

保護者にたずねた自身に関することで悩んでいる・気になることでは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が就学前で最も高く45.1%、小学生で34.2%となっており、「子育てにかかる出費がかさむこと」が就学前で34.8%、小学生で最も高く42.6%となっています。続いて「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が就学前で27.5%、小学生で23.4%となっています。

図表 自身に関することで悩んでいる・気になること

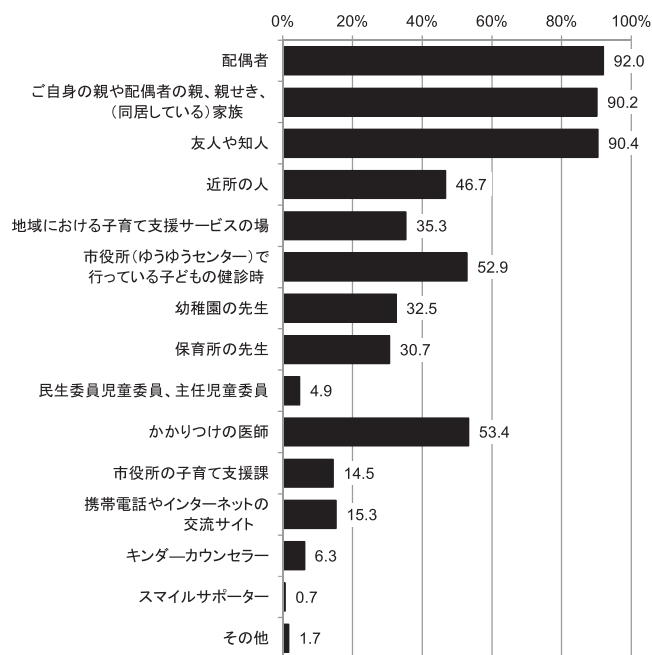


⑦相談先

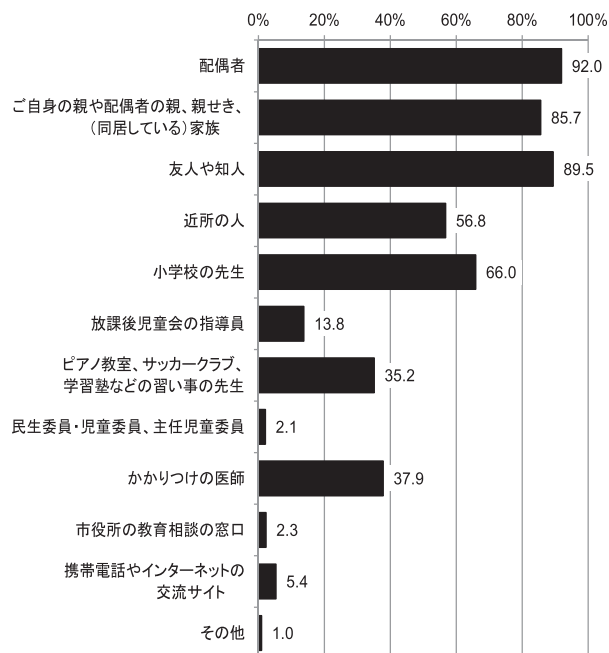
就学前児童の保護者にたずねた気軽に相談できる先は、「配偶者」(92.0%)が最も高く、次いで「友人や知人」(90.4%)、「ご自身の親や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」(90.2%)、となっています。

小学生の保護者にたずねた気軽に相談できる先は、「配偶者」が最も高く(92.0%)、次いで「友人や知人」(89.5%)、「ご自身の親や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」(85.7%)、となっています。

図表 気軽に相談できる先(人、場所)／就学前児童(N=815)



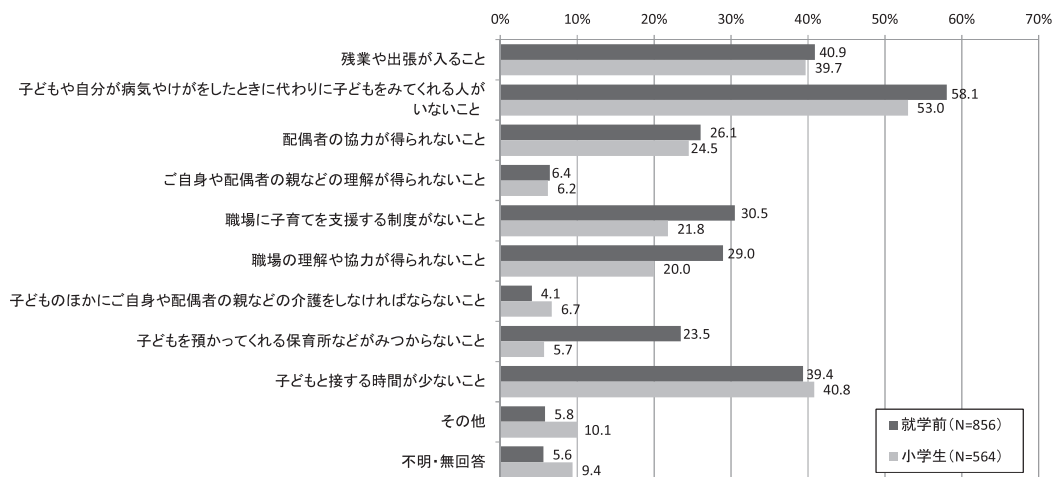
図表 気軽に相談できる先(人、場所)(N=523)



⑧仕事と子育てを両立させる上での課題

保護者にたずねた仕事と子育てを両立させる上での課題は、就学前、小学生ともに「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと」が最も高く、それぞれ58.1%、53.0%となっています。「残業や出張が入ること」が就学前で二番目に高く40.9%、小学生では39.7%となっており、「子どもと接する時間が少ないこと」が就学前で39.4%、小学生では二番目に高く40.8%となっています。

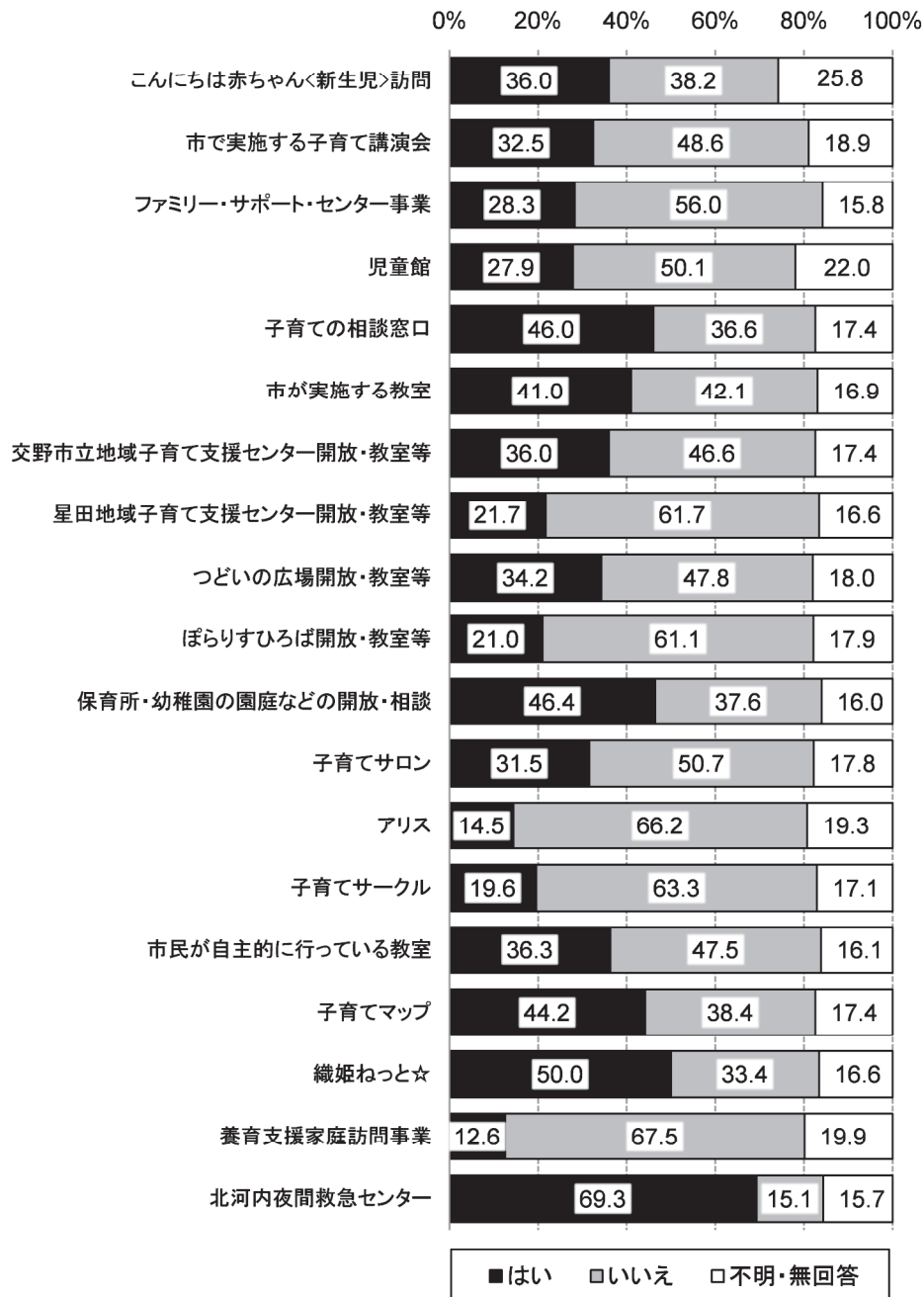
図表 仕事と子育てを両立させる上での課題



⑨子育て支援サービスの利用意向

就学前児童の保護者にたずねた子育て支援サービスの今後の利用意向は、「北河内夜間救急センター」が最も高く（69.3%）、次いで「織姫ねっと☆」（50.0%）、「保育所・幼稚園の園庭などの開放・相談」（46.4%）となっています。

図表 子育て支援サービス・事業の今後の利用意向／就学前児童（N=856）



⑩充実してほしい子育て支援サービス

就学前児童の保護者にたずねた充実してほしい子育て支援サービスでは、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が最も高く（74.2%）、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」（73.4%）、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」（64.6%）となっています。

小学生の保護者にたずねた充実してほしい子育て支援サービスでは、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が最も高く（67.2%）、次いで「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」（59.0%）、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」（55.7%）となっています。

図表 充実してほしい子育て支援サービス／就学前児童（N=856）

